

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26 (10)	それぞれの職員は利用者の事を良く見て、考えケアを実行しているが、個々の動きとなってしまっているところがある。また、職員の配置換えや異動があると、継続したケアに繋がっていない。	「つながるケア」を目指す。職員が変わっても同じケアの提供や続きで対応出来るようになる。細かい所まで、引継ぎや情報の共有ができる。	各利用者の事を知り、いつもと違う様子や対応した事については、次の職員に申し送る。経過を分かりやすく。記録に残す。	3ヶ月
2	33 (12)	自立度の高い方が比較的に多いため、ターミナルについての実感がわいていない。	ホームでは、現在ターミナルが出来る体制ではない。その為、ターミナルについて考える事や方法について理解する事が出来ていないので、まずは知ることを目指す。	ホーム内や法人内外の研修・勉強会に参加し、ターミナルについて知る。	6ヶ月
3	5 (4)	地域の方に協力にしている事は多いが、まだその繋がりは弱いように思える。	推進会議に参加して下っている方やボランティアで来て下さっている方から、色々なアドバイスを頂き、今まで以上に気軽にホームに来て頂けるようになる事を目指す。	ホームの利用者とともに、今まで以上に地域の行事に参加し、もっと地域に出掛ける機会を増やす。	12ヶ月
4	35 (13)	防火訓練は年2回行っている(消防署立会い)が、他の自然災害についての訓練は、出来ない。	火災のみでなく、風水害に対しても対応出来る事を目指す。	この地域のハザードマップを読み込み、マニュアルを現状に合わせて作成し直す。	12ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。